

集 落 聞 き 取 り 調 査 票

様式

集落名	市(町)	調査月日	
回答者	・自治会長・農会長・他	調査者	

ア 集落の状況

集落戸数	全： 戸	農家： 戸	専業農家戸数	戸	農地面積	ha
集落営農	・有・無・検討中 タイプ： ・共同利用型 ・農作業受託型 ・集落営農型 ・他					
主な作物	生産組合 ・有・無 ()					

イ 被害状況

被害内容	・農業被害(・換金作物 ・家庭菜園) ・生活被害(家屋、精神被害等) 年ぐらい前から					
加害動物	シカ	イノシシ	サル	アライグマ	クマ	他
被害作物						
時期						
程度						

ウ 防護柵(農地の周囲、集落柵)

(注)被害の程度 ほとんど無い 軽度 大きい 深刻

個人で農地に柵を設置していますか 柵の種類は	・していない ・一部している ・多数している ・大多数している ・のりあみ ・電気柵 ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ ・他
集落共同で農地に柵を設置していますか 柵の種類は	・していない ・一部している ・広範囲にしている ・全域している ・のりあみ ・電気柵 ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ ・他
どんな動物の被害を防ぐためですか	
集落柵の設置予定はありますか	・既設 ・予定はない ・検討中 ・()頃に予定している
集落柵を設置しない(出来ない)理由は 具体的に	・それほど被害では無い ・経費が高すぎる ・効果が期待出来ない ・集落内で被害の差が大きい ・集落内で住民意識の差が大きい
補助事業の活用についてどう考えますか (有効に活用したい、自己負担が大きすぎる等の意見を具体的に)	

エ その他の被害対策の取り組み

集落で取り組んでいる野生動物対策は	・追い払い ・環境整備 ・栽培管理 ・他()
捕獲対策はしていますか	・していない ・有害捕獲を申請している ・猟友会と集落の連携により実施
捕獲対象の動物はなんですか	

オ 獣害対策への意識

集落で対策について定期的に話し合っていますか	・いない ・過去にある ・時々ある ・継続している
集落で被害の記録をつけていますか	・していない ・記録している人がいる ・記録している
被害対策の研修会に参加したことがありますか	・ない ・参加した人がいる ・集落で開催したことがある
研修会が開催されれば参加を希望しますか	・しない ・希望する人がいる ・集落での開催を希望する
集落で獣害対策に労力を割くことができますか	・出来ない ・多少はやむを得ない ・ある程度出来る ・出来る
集落で獣害対策に費用をかけられますか	・出来ない ・多少はやむを得ない ・ある程度出来る ・出来る
集落ぐるみで対策に取り組む意欲がありますか	・ない ・検討する ・ある ・出来ない()

カ 獣害問題の背景

これからの集落の農業の方向性について	・拡大傾向 ・現状維持 ・縮小傾向
耕作放棄地の状況について	・放棄地はない ・縮小傾向 ・現況維持 ・拡大傾向
集落としての獣害対策の優先度は	・最重要課題 ・重要課題の一つ ・課題である ・課題ではない 最重要課題は()

キ その他の聞き取り事項(農産加工や直売所、都市との交流など集落独自の取り組みや目標)

撮 影 記 録

集落名：

撮影日：

記録者：

N O	番号・記号	場所（農地、林縁等）	コ メ ン ト
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

集落環境調査結果のまとめ

様式

項目	判定	コメント(改善点の例など)
----	----	---------------

防護柵

集落柵の設置状況		
集落柵の管理状況		
個人で農地を囲った柵		
菜園・果樹の防御		

環境整備

くず野菜の廃棄、放棄野菜		
放任果樹		
裏山の整備		
耕作放棄地の管理		
空き家対策		

農地管理

山際の栽培作物		
栽培作物のレイアウト		
農地周辺の環境整備		
冬場の農地管理		
耕作者の事情		

被害対策提案書

集落名:

調査月日:

様式

防護柵

環境整備

栽培作物・農地レイアウト

追い払い体制

捕獲対策

集 落 診 断 カ ル テ

様式

集落名:		調査月日:		事前		年		月		日		診断者:	
		本調査				年		月		日			

集落の地理的な条件(地形、気候):

被害の大きさ: ほとんど無い 軽度 大きい 深刻 防御が必要な作物

被害の特徴 (加害獣の種類や行動、栽培作物種等に起因する特徴など)

対策の対象となる動物の優先順位 (調査資料は別途作成)

1	2	3	4
---	---	---	---

被害対策の現状 (1~4点で表示)

項目	得点	具体例
環境対策	3	ひこばえ、放棄作物、果樹、藪
栽培管理の工夫	3	栽培作物、作物レイアウト等
集落柵の設置状況	3	設置ルート、破損
集落柵の管理状況	3	定期点検、補修
個人柵の状況	3	正しい設置方法と点検
追い払い対策	3	集落ぐるみの追い払い
捕獲対策	3	集落、猟友会の連携

総合判定: 出来ていない ある程度出来ている 対策は進んでいる 集落ぐるみでの対策に取り組んでいる

集落の現状 (1~4点で表示)

項目	得点	具体例
マンパワー	3	住民数、年齢構成など
牽引力	3	営農組織、中心的農家の存在
知識・技術	3	被害対策の実施状況
向上心	3	講習会、研修会
指導の要望	3	指導の要望の有無
意欲	3	被害対策への意欲
集落ぐるみの意識	3	
対策資金の確保	3	

対策への意欲の総合判定: ない 行政頼み ある 大いにある

被害対策の実行に障害となる要因・事情: 地形等の地理的要因、マンパワー不足、高齢化等、集落特有の事情

支援方向: (個別対策の指導、集落ぐるみへの誘導、対策リーダーの育成、集落機能支援優先(獣害対策以前の課題)等)

具体的な処方(総括・詳細は別添対策の提案)

